

# 2015年9月27日(日) 救助隊 岩搬出訓練 レポート

担当:救助隊運営委員 松本

心配されていた天気も何とか持ちこたえ、第118回目の岩搬出訓練が百丈岩で行われました。

参加人数は36名。

まずは、救助隊によるデモンストレーション。

## ①懸垂下降のすっぱ抜けの実演と対策

懸垂下降セット時に片側ロープが短くセットされ、そのロープが確保器から抜けた場合

## ②リーダーレスキューの実演。

リードが滑落し自力脱出不可能な状態。ローアダウンも不可能。セカンドが自己脱出一登り返しー支点構築ー介助懸垂の順でリードを救助。

その後、2班に分かれての訓練となりました。



一方は、ヤグラでのセルフレスキュー(パーティー内レスキュー)訓練

## ①リードが滑落した場合のセカンドの自己脱出

## ②1/3引き上げシステムの構築

## ③登り返し(ロープ登攀)

## ④介助懸垂

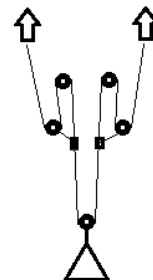
もう一方は、コンパニオンレスキュー(居合わせた仲間によるレスキュー)の訓練として、百丈岩緩斜面において、1/3引き上げのツインシステムを使っての引き上げを参加者の方々に行っていただきました。

約50m下の岩場から、救助者がケガ人(要救助者)を背負い、岩場上部に構築した同システムを使用して引き揚げます。

いずれの参加者の方からも、『忘れないためにも反復練習が大事』との感想を頂きました。

是非、所属会に帰ってからもやぐら等を利用して訓練を行っていただきたいと思います。

さらに、機会があれば、また救助隊の訓練にも参加いただければと思います。



1/3ツイン引き上げシステム